

24
25

 U-NEXT



Premier
League



REPORT

サッカー試合解説レポート

MATCH

U-NEXT プレミアリーグ 【21】 0117_マンチェスター・U VS サウサンプトン

DATE

2025/01/17

NAME

田中裕介

MATCH REPORT

SCORE 3-1 (1st 0-1 2nd 3-0)

TOP3 point

- ・試合を決定付けた赤の『16』
- ・セインツの新たな光スレマナ
- ・ビディッチ魂を感じたドリフト

Challenges to the Next

- ・サイドでのドリブル守備対応の最適解提示
- ・試合のクロージング方法の提示
- ・0トップ時の守備対応提示

【マンチェスター・U】

システムは3-4-3。

出場停止の左WBダロトのポジションにはマズラウィ。右にはディアロが入った。

DFラインは中央にドリフト、右にヨロ。立ち上がりは静かな立ち上がり。

互いに連戦という事やシステムもマッチアップする形で牽制をしながら出方を伺った。

時間経過の中で右WBディアロのドリブル、そして前半最大のチャンスとなったシーンはシンプルなパス交換からサイドに流れたホイランドのスピードを活かした突破から生まれた。ビルドアップからなかなか効果的な攻撃はなかったがこの2つは得点の匂いを感じさせた。

守備では相手FW M・フェルナンデスが中盤に降りていくシーンをなかなか捕まえないのと右ストッパーに入ったヨロが対面のスレマナに侵入を許すシーンが目立った。失点は押し込まれた中でCKを奪われ混戦の中ウガルテに当たったボールがゴールに吸い込まれてしまう。内容的にはあまり良くない前半だった。

後半から交代カードを次々と切り、アモリムは攻撃の意思を伝える。待望の先制点は80分過ぎ。この試合再三仕掛けていた右WBディアロがドリブル突破から一度防がれるも再度フィニッシュ。気持ちでこじ開けた。畳み掛けるように追加点もディアロ。同じような形で右サイドから侵入。一度預けたボールを再度ランニングで受けてダイレクトフィニッシュ。ラストパスは直前に交代で入ったエリクセン。まさに千両役者感たっぷりのエンジェルパスだった。その後相手のミスからディアロがハットトリック。

試合を通して活躍したディアロの奮闘で掴んだ勝ち点3の印象は強かった。

文句なしのMVPはディアロ、陰のMIPは再三ゴール前でピンチに顔を出してブロックをしたドリフト。まさに往年のビディッチを彷彿させる仲間に伝わるディフェンスだった。

【サウサンプトン】

システムは3-4-3。右WBに菅原が入り、ウォーカー＝ピータースが左に回った。立ち上がりこそ静かだったが時間経過と共に前線3枚の技術とスピードを活かした攻撃を仕掛ける。ビルドアップも徐々に安定。

ボールを握りチャンスを作ったシーンの要因は2つ。

0トップ気味に配置するM・フェルナンデスが中盤に降りる事で

数的優位ができてそこからスピードアップする事が可能に。

もう1つは左WGスレマナの個の突破。ユナイテッドの右サイドの守備を切り裂いた。

CKから先制をして最高の形で前半を折り返す。

後半はあまりリスクをかけずに前半の戦いを継続。

左WGスレマナの突破から追加点のチャンスがあるもドリフトに防がれる。

相手の交代カードがどんどん切られる中で徐々に対応が苦しくなっていく。

カウンターからピンチを迎えるシーンが増えた。失点は左サイドから。

この試合再三仕掛けられていた相手右WGディアロのドリブルに屈してしまう。

最後の部分はここまでよく耐えていたが、、

ウォーカー＝ピータースの下がりながらのドリブル対応が前半から目立ったが、ボックス外のゴールから離れた位置で強く当たるシーンがあっても良かったと感じた。

その後ディアロに2点を奪われ万事休す。AWAYで勝ち点3が見えていただけに

残り10分のクロージングには課題が残る試合となった。

その中でスレマナの驚異的なパフォーマンスはポジティブ。